

KSK

発行 KSK 神奈川県障害者定期刊行物協会  
〒222-0035 神奈川県横浜市港北区鳥山町1752番地  
障害者スポーツ文化センター横浜ラポール3F 横浜市車椅子の会内

# あゆみ会報

2018年5月号 第130号

編集 湘南あゆみ会  
〒254-0807 平塚市代官町21-4 SEA平塚ビル3F フレンズ湘南内  
TEL/FAX 0463-24-0420  
定価 50円 (会員は年会費に含まれています)

## 報告

### 平成30年度 定期総会 開催

4月24日(火)ひらつか市民活動センターに於いて、第1部 第13回定期総会、第2部 懇親会が開催されました。出席者26名

定期総会は森泉千穂さんの司会で進められ、議長に曾我節子さん 書記に小泉智子さんを選出し、来賓に平塚市障害福祉課から、窓口等でお世話になる陣内優生様、平塚保健福祉事務所から保健予防課の玉置彰宏様をお迎えして行われました。

議事内容は1)平成29年度事業報告、決算報告、監査報告の後、2)平成30年度事業計画案、予算案が提示され、いずれも承認されました。3)役員改選では監事の変更があり、10年余に亘って監事をしてくださった四方田尚美さんから志賀知子さんへの変更が承認されました。

第2部の懇親会では自己紹介の後、体験発表が3人の方からありました。(以下概要)

<Kさん> 「現在52歳になる息子は高校生の時に発症し、いじめられたのが原因と思われます。入退院を繰り返し、グループホームへの入居を希望しています。今は亡き夫が掛けてくれていた扶養共済で助かっています。息子は母の日には前掛けやブラウスをプレゼントしてくれるなど、私のことを気遣ってくれるようになりました。親亡き後のことを考え、後見制度の利用を考えていますが、預金通帳を全部、後見人に預けなければならないこと、毎月2万円以上の費用が掛かることなどから、どうしたら息子が安心して一生を送れるかを勉強しています。本人の話を良く聞くなど、家族会でのSSTの勉強が大変役に立っています。」

<Uさん> 「33歳になる息子は現在入院中です

が、たばこを吸いに病室を出たまま戻らず、道路の真ん中を歩いているところを、警察に保護されるという出来事が最近ありました。自分がいなくなった方が両親が喜ぶのでは…と考えたようです。「君がいなくなったら親は生きていけないよ」と伝えたのですが、どのように話したら分かってもらえるのかと思案しています。」

<Aさん> (欠席のため手紙を代読)

「現在47歳になる息子は24年前に統合失調症を発症しましたが、病識がなく服薬を拒むため食物に混ぜて服薬を続けてきました。入退社を繰り返しながらも幸い就労意欲は衰えませんでした。私達も高齢となり、将来を見据え、住み慣れたマイホームを手放し、マンションに移住しました。視野を広げるため、市役所の障がい福祉課を訪ね、あゆみ会の存在を知り入会しました。高森先生に個別相談したところ、薬を中止して再発により自覚を促すという、受け入れ難いアドバイスを頂きました。藁をもすがる心境から、先生のアドバイスに賭けることにしました。ハラハラどきどきの日々、4月9日でちょうど1年になりますが、大きなトラブルもなく生活出来ています。まさに想定外のサプライズで狂気乱舞しています。未だ先行きは不透明ですが、これもあゆみ会に入会したお蔭と深く感謝しています。多くの情報を貰い、サポートの追い風になりました。今後、私達も最後の節目を迎えるにあたり、本人の自立を促す為にもサポートの視点を見直し、本人の言動を尊重して、距離を保ち乍ら、注意深く見守っていくつもりです。」

この後、みんなから積極的な体験発表があり、4時半過ぎまで充実した懇親会となりました。

- ・親は面倒を見過ぎず、本人の力を信じて待つことが肝要。
- ・本人が困った時がチャンス。チャンスを待つ。

- ・家族学習会で過去の対応の間違いを知った。遺伝が100%ではない。親は罪責感を持たなくて良い。
- ・桜の頃は気を付けるようにしている。毎日、無事に過ごせればよいと思うようにしている。
- ・私(母親)の早とちりから息子のある施設に入れてしまい、救出するのに大変な思いをした。どの位費用が掛かるかを良く考えず、送られてきた書類を見てびっくり。家族全員の協力で無事、息子は家に帰れたが、深く反省している。
- ・娘は自殺未遂を3回した。来世に行きたいと、夜いなくなったこともある。今は発達障害がある男性と結婚して、親に迷惑をかけないように工夫して生活している。
- ・息子は3級といわれ年金をもらえず、ひきこもっている。
- ・精神障害の人が終生、入れるグループホームが少ない。政治家に働きかけるなど、家族会で頑張りたい。
- ・横浜の依存症の人の会では、政治家を例会に呼ぶなど積極的に動いている。市によって差が大きい、などなど。

《平成30年度 事業計画》

- 4月 第13回定期総会と懇親会
- 5月 家族会研修バス旅行 あしかがフラワーパークと足利学校見学
- 6月 講演会「精神科医療の最新の動き」  
講師 熊田貴之氏
- 7月 SST勉強会 高森信子氏  
平障連七夕まつり休憩所参加
- 8月 平塚市への要望書提出
- 9月 家族交流会  
みんなねっと関東ブロック大会
- 10月 SST勉強会 高森信子氏  
平塚市福祉会館まつり 横溝まつり
- 11月 施設見学  
県民の集い「オープンダイアログ」  
講師 森川すいめい氏
- 12月 講演会
- 1月 新年会
- 2月 SST勉強会 高森信子氏

3月 家族交流会

《平成30年度役員》

- 代表世話人 留任
- 副代表世話人 2人留任
- 世話人 7人留任
- 監事 変更

家族会バス研修旅行

5月7日(月)恒例のバス研修旅行が行われました。幸い午前中は雨もなく、車は新緑の風薫る圏央道から東北道へ。ガイド歴豊富と思しき愉快的なガイドさんのお話に聞き惚れているうちに足利の町へ。午後は雨になることを予測し、ガイドさんの機転で、午前中に足利学校とぼんな寺を見学し、バスの中できれいな彩のお弁当を食べ、フラワーパーク見学となりました。期待していた大藤は、残念なことに今年は開花が早く、咲き終わっていましたが、さすが、“世界で行ってみたい所の十指に入る”(ガイドさんの説明)といわれるだけあって、広い園内には、薔薇をはじめ数えきれないほどの種類の花々が見事に配置され、大勢の観光客で賑わっていました。外国からの観光客も多く、中国系の人、イスラム系やインド系の人もあり、花々を楽しむ様子が幸せそうでした。

日本最古の学校と言われる足利学校の見学には、ボランティアのガイドさんの説明があり、お蔭で良く分かりました。古い名所と新しい名所を同時に見学出来、見学中は殆ど雨にも濡れず、ユーモアに富んだガイドさんのお話とカラオケを楽しみ、参加者31名が全員、体調を崩すこともなく無事に平塚へ帰ることができました。また一つ見聞を広めた良い研修旅行でした。参加された皆様、お疲れ様でした。



## これからのお知らせ

### 6月定例会 講演会

#### 「精神科医療の最新の動き」 ～家族はどのように向き合ったらよいか～

講師 医療法人ディープインテンション  
日吉病院理事長  
熊田 貴之 氏

6月6日（水）13：30～15：30

ひらつか市民活動センターA 会議室

障害があってもよりよく生きる。治療者中心の医療ではなく、患者中心の医療の確立を目指す日吉病院理事長 熊田先生のお話を是非お聴きください。当事者の方も参加できます。

### 7月定例会 SST勉強会

講師 高森 信子 氏

7月10日（火）13：30～16：30

ひらつか市民活動センターB 会議室

SST（ソーシャルスキルズトレーニング）の第一人者である高森信子先生をお迎えして、今年度も勉強会を行います。当事者、家族の気持ちに寄り添った適切なアドバイスを下さる先生は、80歳を過ぎても元気いっぱい、全国からお声のかかる人気の講師です。貴重な学びの時をお見逃しなく。個人的な相談も勉強会后、受けてくださいます。

### 《サロンあゆみ》

毎月 第3金曜日 13：00～16：00

ひらつか市民活動センター研修室

家族同士だからこそ分かり合えるものがある。  
あなたの悩みはみんなの悩み。  
悩みも分かち合えば軽くなる。  
話すことは放すこと。

一人で背負い込まず下ろしませんか。

お茶とお菓子でゆっくり過ごせます。

昨年度は合計136名の方が利用されました。

参加費 100円



足利学校の正門前で全員集合



足利学校の方丈（教室に使われた講堂）



フラワーパーク 池に浮かぶ花のピラミット

## 平塚市への要望書に対する市の回答

平成30年3月30日

### 1 「重度障害者医療費助成制度」の適用について、

精神障害者保健福祉手帳 1級保持者はこれまで通りに継続を、2級保持者には通院費の適用をお願いします。

（回）重度障害者医療費助成につきましては、神奈川県及び近隣都市の動向並びに本市の財政状況等を踏まえ、慎重に検討して参ります。

### 2 バス運賃割引制度を精神障がい者にも早く適用し、障がい者間の格差がなくなるようにバス協会及び県に強く働きかけてください。

（回）今後も引き続き、県内都市の民主主管部局長で構成される協議会を通じて、一般社団法人神奈川県バス協会及び神奈川県に対して、要望をしてまいります。

### 3 発症早期に本人だけでなく、家族全員（兄弟・子ども含む）を支援する、専門職による訪問支援を平塚市で行ってください。

（回）看護師や精神保健福祉士がご自宅に訪問して支援を行う「精神科訪問看護」という制度がございます。この制度は、発症早期でもご利用いただくことができますので、主治医にご相談下さい。なお、「精神科訪問看護」につきましては、自立支援医療の対象となっております。

### 4 精神障がい者の地域移行を促進するための、グループホームの建設に対して、周辺住民から反対が起こった場合、市は積極的に理解促進のための支援行動を行ってください。

（回）障害理解に関する周知啓発につきましては、現在も取り組んでいるところですが、今後も本市が主催するイベントや研修会など様々な機会を通じ、積極的に取り組んでまいります。

### 5 学校教育において精神の病に対する理解、精神障がい者への理解を進めるためにどのような取り組みを行っているのか、教えてください。

（回）各学校においては全ての教育活動を通じて、人権尊重の意識を高め、それを具体的な態度や行動に表すことが出来るように心がけています。また、各教科、道徳、総合的な学習の時間等において、体験活動や交流活動等を通して、福祉や障がい等について、理解や関心を深める学習をすると共に、休日のボランティア活動等にも取り組んでいます。今後も、児童・生徒それぞれの発達段階に応じた学習活動を通じて、人権意識を高めるとともに、偏見差別のない社会を目指していけるよう、各ご家

庭との協力体制を大切にしながら指導してまいります。

### 6 平塚市内の障がい者手帳利用施設一覧表を作成し、配布してください。

（回）公共施設については、制度案内に掲載するとともに、市ウェブで掲載しています。

### 7 こころの病を患う人が増加する中、こころの健康について、市民への啓発活動を積極的に行ってください。

（回）本市では、平成19年に全国に先駆けて「平塚市民のこころと命を守る条例」を制定し、積極的に自殺対策に取り組んでいます。自殺を防ぐためには、心に不調を抱える人などが、早い段階で専門機関に相談することが有効であることから、困りごとや心配ごとを抱えている人が一人で悩むことがないように、様々な相談口を記載したリーフレットを公共施設等へ配架しています。

また、自殺予防啓発街頭キャンペーンの実施、スマートフォンやパソコンを利用してこころの健康（メンタルヘルス）をチェックできる「こころの体温計」システムの提供、ゲートキーパーの養成、FM湘南ナパサで自殺対策情報の発信等の普及啓発を積極的に実施しております。

### 8 障がい福祉の制度案内を三障がい一冊に纏めたものにしてください。

（回）ご要望の内容につきましては、今後、近隣市町の取り組みを参考にしながら、なるべく早期に実現できるよう努めてまいります。

## その他のお知らせ

### ◆講演会「今日は笑顔になれる日」

～たった30秒でこころを癒す方法～

講師 宇野 努氏

日時 5月26日（土）13:30～15:30

場所 茅ヶ崎地区コミュニティーセンター  
2階 第3会議室

主催 家族ピア・ハートフルひまわり

問い合わせ 0467-88-7522

### ◆平塚シネサロン映画会

映画「ふるさと」僕の村が日本の地図から  
なくなる

日時 6月5日（火）14:00～15:50

場所 平塚市中央公民館 大ホール

料金 大人1000円（シネマ友の会員900円）

問い合わせ 090-3206-8740 柏木